



2022年2月8日

各 位

会 社 名 三菱瓦斯化学株式会社
 代表者名 代表取締役社長 藤井 政志
 (コード番号: 4182 東証第一部)
 問合せ先 IRグループマネージャー たき澤 諭
 (Tel : 03-3283-5041)

2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2021年11月5日に公表した2022年3月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 通期 業績予想数値 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 連結業績予想数値

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 690,000	百万円 53,000	百万円 68,000	百万円 50,000	円 銭 240.34
今回修正予想 (B)	700,000	55,000	73,000	50,000	240.34
増減額 (B - A)	10,000	2,000	5,000	0	
増減率 (%)	1.4	3.8	7.4	0.0	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	595,718	44,510	50,240	36,070	173.41

(2) 個別業績予想数値

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 420,000	百万円 31,000	百万円 40,000	百万円 31,000	円 銭 149.01
今回修正予想 (B)	430,000	32,000	43,000	33,000	158.63
増減額 (B - A)	10,000	1,000	3,000	2,000	
増減率 (%)	2.4	3.2	7.5	6.5	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	344,898	19,101	26,443	23,966	115.22

2. 修正の理由

連結業績予想については、前回予想に比べ、ポリカーボネートの採算悪化を見込むものの、ポリアセタール、半導体パッケージ用 BT 材料、ハイパフォーマンスプロダクツ※などの販売が堅調に推移する見通しであることなどから、売上高および営業利益は前回予想を上回る見通しです。経常利益についても、営業利益の上振れに加え、エンジニアリングプラスチック関連会社に係る持分法利益の増加を見込むことなどから、前回予想を上回る見通しです。親会社株主に帰属する当期純利益については、経常利益の上振れを見込むものの、当第 3 四半期に計上した中国のポリカーボネート子会社の減損損失(36 億円)など特別損失の増加が見込まれることなどから、前回予想と同額となる見通しです。

個別業績予想についても、連結業績と同様に、半導体パッケージ用 BT 材料、ハイパフォーマンスプロダクツなどの販売が堅調に推移する見通しであることなどから、売上高および各利益段階は前回予想を上回る見通しです。

※ MXDA、MX ナイロン、芳香族アルデヒド等、旧特殊芳香族化学品の製品群

なお、業績予想の前提となる為替レートは、未経過月を 1 米ドル 113 円、1 ユーロ 130 円（いずれも前回予想と同じ）としております。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上